

教 育 長 室

令和6年第2回港区議会定例会の質問について
(教育長答弁)

代表質問 (22 問)

池田 こうじ議員 (自民党議員団)

- | | | |
|-----|-----------------------|-----------|
| 5 | 多子世帯への奨学金制度の更なる拡充について | 【教育長室】 |
| 10 | イチョウ並木の名称指定について | 【図書文化財課】 |
| 11 | 国際プログラム導入の区立中高一貫校について | 【教育人事企画課】 |
| 27 | 平和教育について | 【教育指導担当】 |
| 30 | 教育に関すること | |
| (1) | 区立学校給食費不徴収について | 【学務課】 |
| (2) | 給食の質の向上と食育推進の関連性について | 【学務課】 |
| (3) | 食育推進にあたっての連携先について | 【学務課】 |
| (4) | 国際理解教育の更なる推進について | 【教育人事企画課】 |
| (5) | 教員の働き方改革について | 【教育人事企画課】 |

榎本 あゆみ議員 (みなと未来会議)

- | | | |
|-----|---------------------------|-----------|
| 4 | 2100 年を生きる子どもたちの保育・教育について | |
| (1) | 小学校での副担任制度について | 【教育人事企画課】 |
| (2) | 公教育の公費負担について | 【学務課】 |
| (3) | こども園の推進について | 【学務課】 |
| (4) | 全ての子どもへの留学支援について | 【教育長室】 |
| (5) | 共働き家庭を前提とした学校運営について | 【教育人事企画課】 |

榎本 茂 (維新・参政・Noblesse Oblige)

- | | | |
|---|-----------|-----------|
| 4 | 中高一貫校について | 【教育人事企画課】 |
|---|-----------|-----------|

丸山 たかのり (公明党議員団)

- | | | |
|-----|-----------------------|---------------|
| 9 | 港区立小中一貫教育校について | |
| (1) | 今後の小中一貫教育校の設置の進め方について | 【学務課】 |
| (2) | 今後の青山中学校の施設整備の方向性について | 【学校施設担当】 |
| 10 | 運動施設の充実を図る取組について | 【生涯学習スポーツ振興課】 |
| 11 | 区立中学校の海外修学旅行の事業継続について | 【教育人事企画課】 |

阿部 浩子議員 (みなと政策会議)

- | | | |
|-----|-----------------|-----------|
| 6 | 子育て・教育都市について | |
| (1) | 教材費の無償化について | 【学務課】 |
| (2) | 港区奨学金制度について | 【教育長室】 |
| (3) | 区立小中高一貫校の検討について | 【教育人事企画課】 |

一般質問 (15問)

ませ のりよし議員 (自民党議員団)

- 8 学校施設開放における校庭照明について 【生涯学習スポーツ振興課】
9 人工芝のマイクロプラスチック流出対策について 【学校施設担当】

玉木 まこと議員 (みなと未来会議)

- 9 教育について
(1) 中高一貫教育について 【教育人事企画課】
(2) スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置について 【教育指導担当】
(3) 学校施設開放について 【生涯学習スポーツ振興課】

とよ島 くにひろ議員 (維新・参政・Noblesse Oblige)

- 1 港区で偏った歴史観に基づいた偏向教育が行われていることについて
(1) 海外修学旅行の視察先について 【教育人事企画課】
(2) 振り返り授業での偏向教育について 【教育人事企画課】
2 教科書採択に対する影響について 【教育指導担当】

根本 ゆう議員 (維新・参政・Noblesse Oblige)

- 3 不登校の子どもへの支援について 【教育指導担当】

福島 宏子議員 (共産党議員団)

- 8 教職員の声をもとにした教科書採択について
(1) 教職員や保護者の声に応えた教科書採択の実施について 【教育人事企画課】
(2) 各学校の「調査報告書」を公開することについて 【教育指導担当】
9 区立小・中学校の給食費無償化分を国立・私立等に通う子どもの保護者へ支給することについて 【教育長室】
10 御田小学校三光キャンパスに通う子どもたちの通学路の安全を確保することについて
(1) 早急に三光坂下バス停の安全確保に取り組むことについて 【学務課】
(2) 始業時間の見直しや、通学時間の分散など検討することについて 【学務課】
(3) 通学路点検を行い、保護者の声に応えた安全対策に取り組むことについて 【学務課】

令和6年第2回港区議会定例会の質問について

代表質問

議員名(会派名)	池田 こうじ議員(自民党議員団)
質問項目 【担当課】	5 多子世帯への奨学金制度の更なる拡充について 【教育長室】
質問要旨	港区奨学金制度のさらなる拡充について、多子などの条件をつけ、奨学金の支給対象世帯を一千万円まで拡大するべきだと思いますが、いかがでしょうか。
答弁内容	今回の条例改正は、国の奨学金制度の改正内容を踏まえるとともに、より区民の生活実態に沿った制度として給付内容を拡充するものです。 多子世帯への更なる拡充については早急に検討してまいります。 今後とも、子どもたちが経済的に不安を感じることなく、夢の実現に向けて挑戦できるよう、奨学生の実態把握に努め、奨学金制度の充実を図ってまいります。
質問項目 【担当課】	10 イチョウ並木の名勝指定について 【図書文化財課】
質問要旨	神宮外苑のイチョウ並木の名勝指定に関して、どのように考えるのか、教育長の見解を伺います。
答弁内容	教育委員会は、昨年6月に所有者である明治神宮を訪問し、これまで、約100年にわたり、イチョウ並木を適切に維持管理してきたこと、今後、周辺で再開発が行われる中であっても、着実に守り続けることを確認しております。 明治神宮とは、名勝指定についての協議を継続していくことの同意を得ていることから、イチョウ並木の一部がまたがる新宿区や東京都とも意見交換をしながら、引き続き所有者と協議してまいります。
質問項目 【担当課】	11 国際プログラム導入の区立中高一貫校について 【教育人事企画課】
質問要旨	公約に国際プログラム導入の区立中高一貫校とありますが、具体的に時期も含め、どのように進めるのでしょうか。また、課題やメリット、デメリットはどのようなところにあるのか、いつまでに実現しようとしているのか、伺います。
答弁内容	教育委員会では、今年度内に、事務局内に中高一貫校PTを立ち上げ、国際プログラムを導入した中高一貫校の実現に向けて、組織的な検討を開始いたします。 区立の中高一貫校の実現は、6年間の一貫した学校生活により生徒が落ち着いて学習や部活動に打ち込めることや、区の実態や保護者のニーズに応じた特色ある教育課程の編成が可能となるメリットがある一方で、人間関係の固定化や生徒間の競争力の低下などのデメリットもあります。 今後のPTでは、東京都との調整や学校施設の確保など様々な課題をはじめ、実現に向け、多岐にわたる視点から検討を進めてまいります。

質問項目 【担当課】	27 平和教育について 【教育指導担当】
質問要旨	公教育において小中一貫教育を進めている小学校、中学校9年間の中で、平和教育をどのように体系的に組み込むのか、教育長の考えを伺います。
答弁内容	現在、各小・中学校では、学習指導要領に基づき、児童・生徒の発達段階に応じて、平和教育を行っております。小学校低学年では、平和に関する読み物教材を活用して、平和を大切にする心情を育み、小学校高学年では、戦争体験者の講話等、直接的な体験を通して、平和の尊さを考える学習を行っております。 また、中学校では、紛争や貧困など国際規模の問題について学び、平和な世の中を実現するために、自分ができることを考える学習を行っております。 今後も、教科書や副読本のみならず、子ども平和塔や慰霊碑などの地域教材を取り入れた平和に関する教育活動を展開し、小学校から中学校までの9年間の中で、児童・生徒が平和の大切さについて主体的に考え、行動につなげることができるよう、港区ならではの平和教育を体系的に進めてまいります。
質問項目 【担当課】	30 教育に関することについて (1)区立学校給食費不徴収の継続について 【学務課】
質問要旨	現在実施している公立学校の給食費補助を引き続き継続するのか確認します。
答弁内容	区は昨年9月から、学校設置者として区立小・中学校の給食費を不徴収とし、本年度以降も、子どもに直接効果が及ぶ給食支援をとおして、教育に係る保護者負担を軽減するため、不徴収を継続しております。 今後も、学校給食費の不徴収を継続するとともに、国に対し、国の負担と責任により学校給食費を無償化するよう要望してまいります。
質問項目 【担当課】	(2)給食の質の向上と食育推進の関連性について 【学務課】
質問要旨	給食の質の向上と食育の推進の関連性についての認識を伺います。
答弁内容	区はこれまで、物価高騰への対応や、より良質な給食を目指し、食材費予算を充実させるとともに、児童生徒のリクエストを受けた献立の実施や、四季折々の行事食の提供など、各学校が工夫して給食を提供しております。 同時に、特別栽培農産物の活用による環境教育や米粉の活用や生産者との交流による自国農産業に対する意識啓発など学校給食を活用した食育の充実にも取り組んでおります。 今後も、日本料理のマナー教室等の開催により食文化の価値を知り、発見する機会を設けるなど、給食の質の向上にあわせた食育の取組を相乗的に推進してまいります。

質問項目 【担当課】	(3)食育推進にあたっての連携先について 【学務課】
質問要旨	企業や大使館と連携し、食育を推進していくと区長の施政方針演説にありましたが、企業について、どのような事業者を想定しているのか伺います。
答弁内容	食に関わる企業や大使館が多い港区の特性を活かすことは、学校給食において、より高い食育効果を得られると考えております。 現在、商店街連携事業で関わりを深めたシェフによる米粉活用メニューの開発や、飲料メーカーによる免疫機能に関する講演会の開催、食品事業者を招いた非常食等に関する防災教室の開催、外国食材を活用した大使館関係者との給食交流等を行っております。 今後も、こうした地域にゆかりのある様々な企業との連携を広げ、学校給食による食育をより効果的に進めてまいります。
質問項目 【担当課】	(4)国際理解教育の更なる推進について 【教育人事企画課】
質問要旨	小中学生の海外派遣の歴史も平成19年からと長く実績を積んでいるが、逆に海外からのホームステイなどを受け入れをすることで、港区の国際理解教育を一層推進することになると思いますが、今後の展望について教育長の考えを伺います。
答弁内容	教育委員会では、国際理解教育を重点的な施策として、区独自の取組を進めてまいりました。 新たな取組として、オーストラリアへの海外派遣で、港区の代表児童・生徒が訪問しているパース市から中学生、高校生を区立学校で受け入れるとともに、児童・生徒の家庭でのホームステイについて検討を進めております。 また、「英語によるコミュニケーション能力の向上」「異文化に触れる体験」「自国の歴史や文化の理解」の3つの視点で、港区ならではの国際理解教育を体系化し、幼少期から中学校まで一貫した国際理解教育プログラムを構築してまいります。
質問項目 【担当課】	(5)教員の働き方改革について 【教育人事企画課】
質問要旨	教員の働き方改革について、今後は膨大な保護者相談をサポートしたり、GIGAスクールや国際理解教育など、教員への負担が肥大化している内容について、教員をサポートできる体制を整備し、教員の働き方改革をより一層推進してほしいが、いかがでしょうか。
答弁内容	教育委員会は、さらなる教員の働き方改革を推進するため、教育センターに学級運営支援講師を増員し、教員に代わり保護者からの相談を受ける体制を検討しております。 また、今年度から小学校低学年の学級担任の支援のために配置しているエデュケーションアシスタントの拡充も検討してまいります。 さらに、より高度で専門的な支援が必要となってきたGIGAスクール構想や、区独自の国際理解教育の企画推進に対しては、教育委員会事務局内に専門部署の設置を検討し、教員への支援を充実させてまいります。 引き続き、教育委員会は、教員の働き方改革を一層推進し、教員が子どもと関わる時間の確保に努めてまいります。

議員名(会派名)	榎本 あゆみ議員(みなと未来会議)
質問項目 【担当課】	4 2100年を生きる子どもたちの保育・教育について (1)小学校での副担任制度について 【教育人事企画課】
質問要旨	小学校低学年のうちは各学級に副担任を常駐させ、担任の補助として学級を専属で担当する人材を配置すべきです。教育長の見解を伺います。
答弁内容	現在、小学校では、1年生各学級1名ずつ配置している区費講師や、今年度より各小学校の低学年に1名配置したエデュケーションアシスタントが副担任の役割を担っております。低学年の学級担任の事務補助や児童への学習支援などを行うことで、学級担任の児童と関わる時間を創出しております。 今後、教育委員会は、副担任制度の効果を踏まえ、これまで以上に低学年児童へのきめ細かな支援につながるよう、地域人材を採用できるエデュケーションアシスタントの配置拡充に努めてまいります。
質問項目 【担当課】	(2)公教育の公費負担について 【学務課】
質問要旨	公立学校で使用する学用品などは公費負担すべきと考えますが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	これまで教育委員会では、区立小・中学校の保護者の経済的負担を軽減するため、学校で児童・生徒個人が使用する計算ドリルや理科教材などの補助教材費、移動教室などの宿泊行事におけるバス代や宿泊料などを公費で負担してまいりました。 区立学校における教材費等の公費負担の拡大については、区立学校における保護者負担の実態や他自治体の事例を調査し、来年度からの実施に向けて検討を進めてまいります。
質問項目 【担当課】	(3)こども園の推進について 【学務課】
質問要旨	区長の施政方針演説でも「誰でも子ども園」構想が示されました。親の働く状況により子どもに受けさせる差が生じないようにスピード感をもってこども園の整備をすべきです。計画について伺います
答弁内容	教育委員会ではこれまで、共働き家庭の増加等に伴い保育ニーズが高まっている状況を踏まえ、区立幼稚園においても、預かり保育の時間を拡大するとともに、弁当配送事業等を始めてまいりました。 今後は、就労状況に関わらず、誰もが利用できるこども園を目指し、区立幼稚園の預かり保育の更なる時間拡大や、現在6園で実施している夏季等休業中の一時預かり事業の全園展開を検討してまいります。

質問項目 【担当課】	(4)全ての子どもへの留学支援について 【教育長室】
質問要旨	以前から公私立に関わらず、全ての子どもたちの留学支援をすべきと訴えてきました。留学は自分の意思をもって行動するものです。港区の中高生が留学をする際の支援をすべきと考えますが、見解を伺います。
答弁内容	教育委員会では、海外留学支援への取組として、本年5月に海外留学に関する区民アンケート調査を行いました。 また、6月からは、区内の中学・高校・大学生世代とその保護者を対象に、海外留学の「きっかけづくりセミナー」と、海外への進学体験や国内外の奨学金情報を提供する「海外進学セミナー」を開始し、第1回目のセミナーには110名の参加がありました。 今後は、区民アンケート調査の結果及び本セミナーをとおりて把握した区民ニーズを踏まえ、6月に設置し、海外留学をサポートするコーディネーター経験者やグローバル教育を推進する団体の代表者、留学体験者等で構成する「港区海外留学支援検討委員会」において、効果的な支援策を検討してまいります。
質問項目 【担当課】	(5)共働き家庭を前提とした学校運営について 【教育指導担当】
質問要旨	区も学校も保護者は子育てに加え、仕事もあり、大変忙しいということを念頭におくべきです。また、PTA活動についても同様であり、区も積極的に関わり、適切な運営がされるよう支援体制を整えるべきです。学校運営は共働き家庭を前提とした制度作りをすべきと考えますが、見解を伺います。
答弁内容	コロナ禍で始まった保護者会や個人面談のオンライン実施は、一部の学校において引き続き行っており、保護者会時の資料の電子配布を行っている学校もあります。 今後は、対面で実施する意義を踏まえつつ、こうした学校の事例を全校に紹介し、保護者会の録画をオンデマンド配信して、共働き家庭の方にも丁寧に学校の情報を伝えてまいります。 PTA活動については、各学校のPTA役員が、加入は任意であることを丁寧に説明するとともに、保護者の意見や実情を踏まえた活動となるよう工夫していると伺っております。

議員名(会派名)	榎本 茂(維新・参政・Noblesse Oblige)
質問項目 【担当課】	4 中高一貫校について 【教育指導担当】
質問要旨	多くの区民のニーズは中高一貫校です。大学受験までのシームレスな学習環境を区民は望んでいます。研究部会を立ち上げ、千代田区のような区立の中高一貫校設置の可能性について検討を進めていただきたいと思います。教育長の考えを伺います。
答弁内容	教育委員会は、今年度内に、事務局に中高一貫校PTを立ち上げ、組織的な検討を開始します。PTでは、先行事例の千代田区立九段中等教育学校の直近の状況等も踏まえ、設立の効果や新設に向けた課題、設立時期も含め、実現に向けて多岐にわたる視点での検討を進めてまいります。

議員名(会派名)	丸山 たかのり議員(公明党議員団)
質問項目 【担当課】	9 港区立小中一貫教育校について (1)今後の小中一貫教育校の設置の進め方について 【学務課】
質問要旨	施設一体型や隣接型の一貫教育校の設置について、今後はどのように進めていかれるのか、教育長に伺います。
答弁内容	教育委員会では、校舎間の容易な移動により円滑な学校運営が可能となる施設一体型または施設隣接型の小・中学校を小中一貫教育校に移行してまいりました。施設一体型のお台場学園、白金の丘学園、赤坂学園、施設隣接型の御成門学園を開校し、全ての移行を完了しております。今後、改築等でこれらの条件を満たす校舎整備を行う場合には、保護者や地域の意見を丁寧に伺い、小中一貫教育校の設置を検討してまいります。
質問項目 【担当課】	(2)今後の青山中学校の施設整備の方向性について 【学校施設担当】
質問要旨	現在カリキュラム連携校として、幼・小中一貫教育を行っている青山アカデミーについて、建物の老朽化が進む中、一貫教育校化や地域コミュニティの進展、防災の観点も含めた今後の青山中学校の施設整備の方向性について、教育長の考えを伺います。
答弁内容	学校施設については、港区公共施設マネジメント計画に基づき、計画的に改修を行っており、大規模改修工事により長寿命化を進める中で、バリアフリー化や環境性能、防災機能の向上等を図っております。 一方で、行政需要を的確に捉え、建て替えにより既存の区有地をより有効に活用し、教育環境の向上等を図っていくことも必要であると考えております。 青山中学校は、敷地面積も広く恵まれた環境であり、今後の施設整備の方向性については、青山アカデミーにおける幼・小・中の一貫教育の更なる推進や公立学校の魅力向上に加え、学校施設が地域の方にとって身近なスポーツを楽しめる場所であり、地域コミュニティや地域防災の拠点であることも踏まえ、様々な視点から検討を進めてまいります。
質問項目 【担当課】	10 運動施設の充実を図る取組について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	区長の施政方針でも、気軽に運動でき、遊べる場の整備取り組むことを表明されており、地域住民のニーズに応じ、今後の積極的な環境整備や、新たな運動施設の設置が期待されるところです。今後、運動施設の充実を図るために教育委員会としてどのように取り組むのか、見解を伺います。
答弁内容	教育委員会では、今年度、三田中学校など5校において、近隣へ光が漏れることを抑制した照明設備への更新又は新設を行い、近隣に配慮しながら夜間も安全にスポーツを楽しんでいただける環境を整えてまいります。 また、この夏から、熱中症対策として、麻布運動場及び芝浦中央公園運動場に簡易なミスト装置を試行設置し、効果を検証します。 引き続き、運動施設における環境の充実に努めるとともに、今後予定されている(仮称)北青山三丁目地区スポーツ施設の整備のほか、区外での運動場の確保など、区民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう運動施設の充実に取り組んでまいります。

質問項目 【担当課】	11 区立中学校の海外修学旅行の事業継続について 【教育人事企画課】
質問要旨	在校生の海外修学旅行への期待や信頼を保護するためにも、ぜひ誠実な対応を期待します。区立中学校の海外修学旅行について、現在の在校生までの事業継続について、教育委員会としてどのように考えているのか、教育長に伺います。
答弁内容	本年6月より始まった海外修学旅行は、今月までに実施した6校の生徒たちが、現地で異文化に直接触れるとともに、英語を活用した直接体験により、多くの学びを得て帰国しています。 今後は、事前事後の生徒向けアンケートや教員からのヒアリングをもとに、専門家を交えた会議体での効果検証を踏まえ、来年度の実施について検討してまいります。 検討にあたっては、現在の中学校1・2年生の海外修学旅行への期待も踏まえてまいりたいと考えております。よろしくご理解のほどお願いいたします。

議員名(会派名)	阿部 浩子議員(みなと政策会議)
質問項目 【担当課】	1 小・中学校での備蓄食のレシピを活用した防災学習について 【教育指導担当】
質問要旨	災害時の備蓄食品は日常では食べにくく、防災訓練でもらったとしても賞味期限が切れた自宅の備蓄になってしまいます。小・中学校においても、区民の方から募集したレシピを使い、給食や調理実習などで活用することによって、防災学習につながるのではないのでしょうか。 区のお考えをお聞きます。
答弁内容	学校の調理実習の目的は食事の役割や調理の基礎を学ぶことであることや、災害時に備蓄しているアルファ化米は、給食としての調理や提供の方法に課題もあることから、総合防災訓練等での活用を進めております。 具体的には、港南中学校やお台場学園が芝浦港南地区総合支所と連携した訓練において、災害時を想定したアルファ化米の炊き出しを実施しているほか、各学校での備蓄食の入れ替えの際には、アルファ化米等を児童・生徒に配布しております。 引き続き、教育委員会は、各学校の取組を支援し、児童・生徒の防災意識の醸成に努めてまいります。
質問項目 【担当課】	2 学校給食について (1)私立小・中学校等に通う児童・生徒の保護者の負担軽減について 【教育長室】
質問要旨	港区として、私立、国立等に通っている港区の子育て世帯の学校給食費の負担軽減についてどのように考えているのかお聞きます。
答弁内容	港区の子どもが通っている私立小・中学校のうち、多くの学校が給食を実施していないことから、給食費の負担軽減については給食未実施の学校に通う児童・生徒に向けた支援の在り方などの課題があります。 私立学校等に在籍する児童・生徒の保護者に対する負担軽減策については、教育費負担の実情など基礎的な情報を収集・分析するとともに、国や都の動向も注視し、子どもへの総合的な支援の在り方の中で検討してまいります。

質問項目 【担当課】	(2)物価高騰に伴う食材費について 【学務課】
質問要旨	消費者物価指数の高騰と同様に給食費食材費も金額を上げて、児童・生徒に安心して美味しい給食を提供するために区として取り組んでいくべきだと考えます。区のお考えをお聞きます。
答弁内容	区はこれまで、物価高騰等に対応するため、学校給食用食材料費について、一食あたりの基準額に予算を上乗せし、学校給食を提供してまいりました。 来年度は、上乗せ額を増額し、具体例としては、中学生の一食あたりの基準額が324円のところ、424円とする予定です。 引き続き物価高騰状況に対応した食材調達を行うとともに、安全・安心で子どもたちが食を楽しむ美味しい学校給食の提供に努めてまいります。
質問項目 【担当課】	(3)食物アレルギー対応食について 【学務課】
質問要旨	他自治体の事例も研究し、食物アレルギーの子どもたちも一緒に食べることができる給食を目指してほしいと思います。区のお考えをお聞きます。
答弁内容	教育委員会では、令和2年6月に改訂した「区立幼稚園・小中学校における食物アレルギー対応マニュアル」で定めている「学校給食は安全確保のため原因食物の完全除去を原則とする」という基本的な考え方に基づき、原因物質を除いた除去食を、食物アレルギー対応食として提供しております。 この基本的な考え方を原則としつつも、アレルゲンとなる食材を使わない献立の工夫、米粉を活用したメニューの開発、他自治体の事例の研究などにより、可能な限り多くの児童・生徒が同じ給食を食べられるように努めてまいります。
質問項目 【担当課】	(4)オーガニック食材の拡大について 【学務課】
質問要旨	来年度、食育の推進が小・中学校で予算化されました。学校給食に国産食材を活用するとともに生産者との交流をはかるこの事業に、オーガニック食材も取り入れていただき、食の理解につなげて欲しいと思います。区のお考えをお聞きます。
答弁内容	農業や化学肥料を使用しない有機食材いわゆるオーガニック食材の学校給食における活用は、環境問題への意識を高める食育が期待できる一方、市場流通量の課題もあります。 来年度、生産者交流を予定している事業者に対し現地の有機食材の活用可能性を確認したところ、生産量が少なく学校給食で活用できる量の提供が困難との回答がありました。 今後は、生産者交流を通じて農業や生産に対する児童・生徒の理解促進を図るとともに、有機食材については、納入事業者への働きかけを工夫することなどによる調達に努め、給食を通じて環境問題への関心を高める食育に取り組んでまいります。
質問項目 【担当課】	3 区立幼稚園、小学校と都立高校の連携について 【教育指導担当】
質問要旨	区内にある2校の都立高校と、幼稚園・小学校は、公立学校であるからこそもっと連携できるのではないのでしょうか。教育長のお考えをお聞きます。
答弁内容	これまで南山幼稚園、南山小学校では、都立六本木高校と連携し、高校生が幼稚園・小学校の運動会運営の手伝いをしたり、小学校4年生が高校を訪れ、天文部の生徒から星に関する話を聞く等の交流をしてまいりました。 また、赤羽幼稚園、赤羽小学校では、都立三田高校のダンス部が幼稚園・小学校を訪れ、ダンスを披露するほか、踊り方の指導を行っております。 今後も、幼児・児童・生徒が主体的に交流する機会を充実させるため、都立高校と区立幼稚園・小学校の担当者による話し合いの場を設け、連携をさらに進めてまいります。

質問項目 【担当課】	4 海外修学旅行の実施について 【教育指導担当】
質問要旨	来年度の海外修学旅行の決定から、区民の多くの方々に、国内の修学旅行にしてほしいとの声を聞いてきました。区として、来年度以降の中学校の修学旅行についてどのように考えているかお聞きます。
答弁内容	来年度実施を予定している海外修学旅行では、実施後全ての参加生徒を対象に、意識や行動の変容などをオンラインによる調査で測定する予定です。 また、生徒・学校関係者や保護者へのアンケートを実施したうえで、「海外修学旅行の在り方検討委員会」を開催し、PTA、学識経験者を交えて効果検証を行うことで、海外修学旅行の質を高めてまいります。 国際理解教育は、異文化について学ぶことはもとより、自国の歴史や文化についても学ぶことが重要であることから、我が国や平和に関する学習については、校外学習、夏季学園などで工夫して実施し、港区ならではの国際理解教育を一層推進してまいります。
質問項目 【担当課】	5 学用品の無償化について 【学務課】
質問要旨	品川区では、区立小・中学校の学用品を完全無償化すると報道されています。書道道具や絵の具、副読本、道具箱などを所得制限なしで配布するそうです。 品川区の学用品の無償化について、教育長のお考えをお聞きます。
答弁内容	これまで教育委員会では、区立小・中学校の保護者の経済的負担を軽減するため、学校で児童・生徒個人が使用する計算ドリルや理科教材などの補助教材費、移動教室などの宿泊行事におけるバス代や宿泊料などを公費で負担しており、今年度からは、英検の検定料などの公費負担を拡大しております。 品川区が来年度に実施を予定する学用品の無償化は、ドリルや書道用具などの補助教材を公費負担するものであり、現在区が実施をしている公費負担と重複する部分も含まれるものと認識しております。 引き続き、区立小・中学校における保護者負担を軽減するため、支援の内容・方策について検討してまいります。

一般質問

議員名(会派名)	ませ のりよし議員(自民党議員団)
質問項目 【担当課】	8 学校施設開放における校庭照明について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	学校施設開放における可搬型の夜間照明器具の導入について、教育長の考えを伺います。
答弁内容	教育委員会では、屋外照明設備が設置されていない学校や既存の設備では十分な照度が確保されていない学校に対し、移動式の照明機器の導入を支援しております。現在、港区立小中一貫教育校白金の丘学園白金の丘中学校の部活動で活用されており、学校からは、状況に応じて置く場所を変えられるため大変便利であると聞いております。 今後、学校施設開放事業においても、各学校の状況や近隣への影響を確認しながら、移動式の照明機器の活用を進めてまいります。

質問項目 【担当課】	9 人工芝のマイクロプラスチック流出対策について 【学校施設担当】
質問要旨	環境の面からのマイクロプラスチックの流出に対する区の実施についてお聞きします。
答弁内容	教育委員会は、環境省がマイクロプラスチックの流出抑制等に効果のある取組や技術を取りまとめたグッド・プラクティス集に登録された流出抑制装置を、令和4年度に筈小学校に試験的に設置しました。実証の結果、破断された人工芝等が装置内に回収され、下水管への流出抑制に大きな効果が確認されたため、昨年度、人工芝を敷設している12校に流出抑制装置を設置しました。 引き続き、各メーカーの技術開発の動向等を注視するとともに、設置した装置の適切な維持管理に努めてまいります。

議員名(会派名)	玉木 まこと議員(みなと未来会議)
質問項目 【担当課】	9 教育について (1)中高一貫教育について 【教育人事企画課】
質問要旨	国際プログラムを導入した公立中高一貫校というのは、これから港区に設置される(仮称)都立新国際高校との連携が相応しいと考えますが、これまでの検討状況を踏まえ、今後の中高一貫校の設置にあたっては、東京都との協議をどのように行う考えなのかお聞かせください。
答弁内容	教育委員会は、これまでの調査によって、中高一貫校の設立にあたっては、教員の採用から学校施設の確保など様々な課題があるとともに、東京都への申請や承認などが必要であることを把握しております。 今年度立ち上げるPTでは、区独自の中高一貫校の実現に向けて、多岐にわたる視点から検討を進めてまいります。 PTでは、(仮称)都立新国際高校や既存の都立高校との連携、東京都との具体的な調整方法についても検討を予定しております。
質問項目 【担当課】	(2)スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置について 【教育指導担当】
質問要旨	これから役割がますます増大すると予想されるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった専門職については、区が責任を持って直接採用し、処遇改善を行うなど、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置の更なる充実をお願いしたいと思いますが、教育長のお考えをお聞かせください。
答弁内容	教育委員会では、各学校に都費や区費のスクールカウンセラーを週2日以上配置し、子どもや保護者が不安や悩みを相談できる体制を整えております。 また、昨年度から新たにスクールソーシャルワーカーを週1日配置することで、家庭訪問や関係機関につなぐなど、子どもや保護者に寄り添った支援を行っております。 今後も、相談件数や相談状況を把握し、人員配置も含め、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談体制を充実してまいります。

質問項目 【担当課】	(3)学校施設開放について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	まもなく予約システム導入後1年が経過することから、学校施設開放事業の運用の見直し(予約システム導入)による効果の検証と既存団体への影響の調査を行っていただきたいと思いますが、教育長のお考えをお聞かせください。
答弁内容	昨年10月の施設予約システムの導入に当たり、使用団体の代表者や学校関係者で構成する、学校施設開放運営委員会において、地域の団体がこれまでどおり活動を継続できるよう、活動実績に応じた使用枠を確保するなど、運用方法の見直しを行いました。 運営委員会では、見直し後の状況についても確認することとしており、本年8月以降、各団体等にアンケート調査やヒアリングを順次実施し、聴取した意見を踏まえ、運用の改善に向けて議論してまいります。

議員名(会派名)	とよ島 くにひろ議員(維新・参政・Noblesse Oblige)
質問項目 【担当課】	1 区立中学の海外修学旅行について (1)海外修学旅行のプログラムについて 【教育人事企画課】
質問要旨	海外修学旅行のプログラムの一つとして、偏った一方的な歴史観に基づく虚偽の展示を行う施設を選んだことについて、この修学旅行は我が国を愛する心を育むという学習指導要領の目的にもとづいているのでしょうか。
答弁内容	海外修学旅行では、各中学校がそれぞれの目的に応じて、多様性や自然、平和など、学校やグループごとのテーマに応じたプログラムを選択しております。 今回、平和をテーマとしたプログラムを選択した2校が、シロソ砦とディスカバリーセンターを訪問しました。 現地での平和学習は、多面的・多角的に我が国の国際関係や歴史について理解を深めるものであり、自国を愛する心を育むという点で、学習指導要領の目的に合致するものと考えております。
質問項目 【担当課】	(2)振り返り授業について 【教育人事企画課】
質問要旨	思い出したくもない施設で心傷ついた子どもたちに、振り返り授業で更にショックを与える授業の子どもへの影響と保護者の不安について教育長はどうお考えでしょうか。
答弁内容	海外修学旅行で平和をテーマとしたプログラムを選択した学校では、振り返りの授業を行う際に、現地での学びを生かして、あらためて自国を愛し、他国を尊重する大切さを教えてまいります。 今回の海外修学旅行に関わらず、平和学習では、戦争の惨禍を目の当たりにし、平和を自分ごととして実感することは、生徒の深い学びにつながるものです。 今後、各学校では、海外修学旅行で学んだことを報告する機会に、戦争の悲惨さから目を背けず、平和の尊さを学ぶ大切さについて保護者にも伝えてまいります。

質問項目 【担当課】	2 教科書採択に対する影響について 【教育指導担当】
質問要旨	自虐史観に基づき偏った教育を行う者が著作に関わっている教科書を使い続けることの子供達への影響を教育長はどのようにお考えでしょうか。
答弁内容	教育委員会では、国の教科書検定を受けた教科書の中から、保護者代表、学校現場、教科書展示会での区民の意見を参考にし、子どもたちが主体的に学ぶことができ、教員が指導しやすい教科書を採択しております。 各学校では、この教科書を活用して、学習指導要領に即した授業を実施しており、子どもたちに多様な価値観を育むものと考えております。

議員名(会派名)	根本 ゆう議員(維新・参政・Noblesse Oblige)
質問項目 【担当課】	3 不登校の子どもへの支援について 【教育指導担当】
質問要旨	不登校の子どもへの対応を「学びの多様化」としてとらえ、保護者の負担も考慮し、拡充した支援策を検討いただきたいのですが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	教育委員会では、適応指導教室に加え、来年4月に開設を予定している学びの多様化学校に、不登校児童・生徒が安定して通学ができる環境を整備することで、保護者に時間的なゆとりを生むことができると考えております。 そのため、学びの多様化学校では、企業と連携したキャリア教育などを充実し、不登校の子どもが通いたくなるカリキュラムの編成を目指しております。 また、保護者支援として、教育センター常駐の心理士による不登校相談会を開催し、個々の状況に応じた支援策を紹介してまいります。 さらに、経済的支援を含め、保護者の悩みや不安に寄り添った対応について、検討してまいります。

議員名(会派名)	福島 宏子議員(共産党議員団)
質問項目 【担当課】	8 教職員の声をもとにした教科書採択について (1)教職員や保護者の声に応えた教科書採択の実施について 【教育指導担当】
質問要旨	教育委員会での採択は、教職員や保護者の声に応え、子どもたちに歴史の真実を伝え、自らの学びを育てる教科書を選ぶこと。答弁を求めます。
答弁内容	区では、保護者代表や校長等で構成される教科書選定研究委員会が作成した資料、各学校で教員の意見をもとに作成された研究報告書、教科書展示会における区民の意見を参考に、教育委員会が慎重に採択を行っております。 採択時には、子どもたちが主体的に学ぶことができ、教員が指導しやすいことを観点の一つとして協議を進めております。 今後も、公正かつ適切な教科書採択を実施してまいります。

質問項目 【担当課】	(2)各学校の「研究報告書」を公開することについて 【教育指導担当】
質問要旨	各学校の「調査報告書」を教育委員だけでなく、区民にも公開すること。答弁を求めます。
答弁内容	教科書採択に当たっては、すべての区立学校において、教員が全教科の教科書について研究を行い、研究報告書を作成しております。 各学校から教育委員会に提出された研究報告書は、教科書採択終了後に、区政資料室や教育センターでの公開を予定しております。
質問項目 【担当課】	9 区立小・中学校の給食費無償化分を国立・私立等に通う子どもの保護者へ支給することについて 【教育長室】
質問要旨	港区でも私立・国立・インターナショナルスクールに通う児童生徒、様々な事情で学校に通えない児童生徒も給食費無償化分と同等の支援対象とすること。支給にあたっては遡及すること。答弁を求めます。
答弁内容	教育委員会では、私立学校等に在籍する児童・生徒の保護者に対する負担軽減策を検討するため、本年3月に「港区子どもの学習費についてのアンケート調査」を実施しました。 給食費無償化分を支援することにつきましては、アンケートの結果等を踏まえ、子どもへの総合的な支援の在り方を考える中で検討してまいります。
質問項目 【担当課】	10 御田小学校三光キャンパスに通う子どもたちの通学路の安全を確保することについて (1)早急に三光坂下バス停の安全確保に取り組むことについて (2)始業時間の見直しや、通学時間の分散など検討することについて (3)通学路点検を行い、保護者の声に応えた安全対策に取り組むことについて 【学務課】
質問要旨	早急に三光坂下バス停の安全確保に取り組むこと。始業時間の見直しや、通学時間の分散など検討すること。早急に通学路点検を行い、保護者の声に応えた安全対策に取り組むこと。3点それぞれ答弁を求めます。
答弁内容	下校時の三光坂下バス停は、歩道も狭く待機する場所も限られていることから、学校職員を配置し児童を誘導しております。 また、登校時のバス乗車を分散化するため、移転前は8時15分から20分までの5分間としていた登校時間を8時から8時25分までの25分間に拡大するとともに、児童が8時前に登校した場合も校内に受け入れております。 本年度の春の通学路点検は既に終えており、学校や保護者の声などを踏まえ、登下校誘導員の配置場所の見直しを行います。更に登下校の見守りを行う人員の増員についても検討してまいります。